

耐震性能が劣り、危険な老朽化した現事務所を建て替え、
日本共産党の新しい躍進の時代をひらくために

日本共産党岐阜県委員会事務所建設 募金へのご協力のお願い

2018年2月

日本共産党岐阜県委員会

日本共産党岐阜県委員会は、耐震性能が劣り、危険な老朽状態にある現在の県委員会事務所(岐阜市千石町・3階建)を、想定される大地震に耐え、かつ、今後の岐阜県における日本共産党の発展を展望し、新事務所に建て替える計画です。皆様方の建設募金をはじめとした物心両面でのご協力を切にお願いするだいです。なお、岐阜地区委員会との協議のうえ、新事務所には岐阜地区は入居しないことになりました。それに伴い、3階建を2階建に、事業費1億円を8千万円に変更いたします。これを機に改めて、建設募金へのご協力をお願いするものです。

切迫する大地震に耐える事務所に

現在の事務所は1964年に建てられました。以後半世紀にわたり、県会議員、衆議院議員を誕生させ、県内の地方議会に102人の議員を獲得し、野党と市民の共闘で野党統一候補を実現させるなど、岐阜県の政治革新の事業を大きく前進させる拠点となりました。また、平和と民主主義、生活向上を求める岐阜県民のたたかいのカナメの役割も果たしてきました。

しかし、建築後半世紀を経て、雨漏りや水回りの不具合など建物全体が老朽化しています。とくに重大なのは、耐震性能が劣り、予想される大地震に耐えられないことです。2011年3月のマグニチュード9・0の東日本大震災は、甚大な被害を及ぼしました。東海地方では、東海・東南海・南海地震など三連動・五連動という大地震の発生が予測されています。

そこで、岐阜県委員会は、切迫する大地震に耐え、かつ、わが党の今後の発展と業務の拡張に対応できるよう、思い切って新事務所の建設を計画しました。

新事務所の基本構想

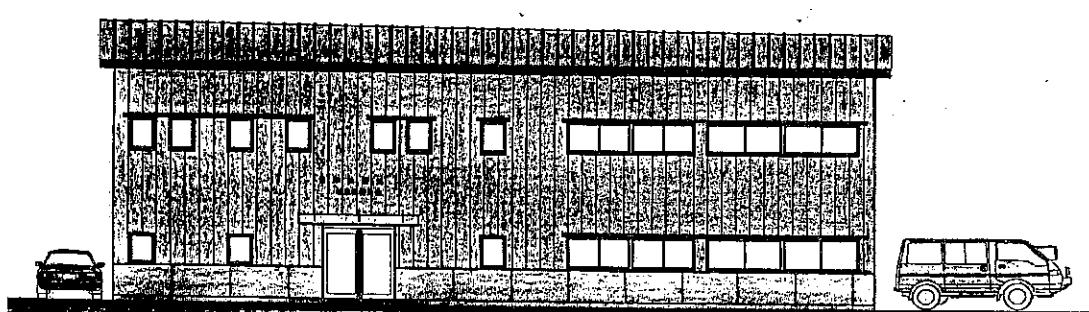
新しい事務所は、岐阜市西野町の現在の駐車場に鉄骨2階建を予定しています。1階は応接室、執務室、書籍コーナーなど、2階は大小の会議室、資料室などを配置します。さらにみなさんのご意見もお聞きして、充実したものにしていきます。

事業費は8千万円、募金で

建設事業費は、合理的な節減を基本方針とし、8千万円を見込んでいます。その建設資金は、個人寄付でまかないます。募金計画は、2018年7月15日を第一次期限とし、建設資金調達の目途をつけたうえで、速やかに着工できるようとりくみます。なお、募金者のご芳名を記した銘板を設置するなど、ご協力を永く顕彰します。

※建設募金の方法やご利用いただく口座などは、裏面をご覧ください。

野党連合政権を実現し、21世紀の政治革新の事業を推進する礎を築くとりくみです。皆様のご協力を重ねてお願い致します。



(新事務所建設予想図／鉄骨2階建)

総事業費8千万円の建設資金をつくるために—— 建設募金へのご協力をお願いします

建設資金はすべて個人の寄付（募金）によって確保します。1口・1万円での寄付や1000円、2000円の寄付も広く募ります。半年、1年と毎月積み立てていただく寄付も大歓迎です。また、友人、知人に呼びかけて一定の額を目標に寄付を集めてもらう「納入予約」にも応えてください。県委員会に所縁のある全国各地にお住いの方々にもご協力を訴えます。まずは、今年の7月15日までの「第一次期限」のとりくみにご協力ください。

●郵便振替をご利用の場合は—

振替用紙に、氏名・住所・職業とともに「党事務所建設寄付金」とお書きいただき、下記の口座まで送金してください。なお、郵便局のATMで送金すると手数料が安くなります。

►郵便振替口座 0850-5-27658 日本共産党岐阜県委員会

●銀行振込をご利用の場合は—

下記の口座に振り込んでいただき、氏名・住所・職業・送金額をFAXやメール、郵便ハガキなどで党県事務所建設委員会まで知らせてください。

►銀行振込口座 十六銀行西野町支店(普通) 1400735

日本共産党岐阜県委員会 党県事務所建設委員会 山口正光

●お問い合わせは—

〒500-8819 岐阜市千石町1-12 日本共産党岐阜県委員会 事務所建設委員会

電話：058-265-3871/FAX：058-263-4005

メールアドレス jcp-gifu@jcp-gifu.jp

ホームページ <http://www.jcp-gifu.jp/>

※政党への寄付金が年間2,000円を超える場合、確定申告の際、所得税控除をうけることができます。詳しくはご相談ください。

キ リ ト リ-----

日本共産党岐阜県委員会事務所建設募金納入書

*1口・1万円×()口=_____円

20 年 月 日 氏名 _____

住所 _____

/ 受領サイン/